



第25号
2012年 7月1日

○発行
650-0004
神戸市中央区中山手通
7丁目25-38
神戸真生塾広報誌編集係
TEL (078) 341-5897
FAX (078) 341-8239
E-mail: kouhou@kbsheinsei-j.org
○振替口座
郵便振替01100-8-18680

神戸真生塾で教わった子育て実践



前真生乳児院院長
綿谷 榮子

『くるる朝』ことに朝陽と共に神の光を心に受けて、愛の御旨を新たに悟る』
(讃美歌二十三番 一九六三年五月)

一日神戸真生塾の日本館二階ホールで水谷愛子塾長(通称・お母さん)の尊厳たるピアノ奏による職員さん達の讃美歌に片田舎で育った私には初めての礼拝でした。声もなくただ涙がとめどもなく流れたのを覚えていいます(現在も毎朝富川塾長による礼拝が守られています)。

当時の乳児院は、門を入ると右側に赤ちゃんの泣き声や職員さんの話し声が聞こえ、中庭には藤棚が広がっていました。西側出入り口の陽だまりでは、特製の高い椅子に乳児さんが座らせてもらって、白衣姿の保健師さんがお歌を唄いながら、バリカンで手際よく散髪をされていました。スツキリ可愛くなった乳児さんを囲み、職員さん達が「可愛い、可愛い」と大はしゃぎ。本館の正面西側に水谷邸があり、その勝手口には毎朝学童の子ども達が「お母さん行って参ります」と挨拶に行きます。水谷のお

母さんが出てこられ、「○○ちゃん、ボタンが外れているよ」「○○ちゃん、早く行かないと遅刻するよ」等、一人一人に声を掛けて送り出されていました。

本館の北側には衣類倉庫があり、水谷のお母さんは季節の変わり目に一週間ほど来る日も来る日も天井まで積み上げられた段ボールに埋もれながら、その子に似合う着丈・袖丈・びつたりの洋服を、普段着二枚、学ば行き三枚、お出かけ用三枚ずつを選んで名前を記して下さいました。その作業は夜八時九時まで続きました(現在は担当職員と一緒にお店に買いに行きます)。

倉庫の北側の端に洗濯場があり、夜勤専属職員さんが、昼間は乳児のオシメの洗濯をして下さっていました。三百枚もの枚数を教えて物干し竿に丁寧に糊付けしたように干されていました。その方の手は、小さなグローブのように硬く、頼もしさで優しく胸がいつぱいになったものです。その洗濯の職員さんの周りには、いつも男の子や女の子、様々な子ども達がコロコロとくっついては、タライに水を入れてもらって遊んで

いました。お洗濯は日暮れまで続いていました。

洗濯場の裏の石段を登ると、高台に木造の家が三、四軒、五、六人ずつ小学生以上の男子のお家がありました。広い草むらで、虫取りやボール蹴り等、元気に遊ぶ声が聞かれ、その西端に大きな樫の木があり、その根っこにもたれて高校生がトランペットを、夕方月見草の花が白く浮き出される頃まで熱心に練習していました。大家族の中でも豊かな時間があったように思われ、懐かしく思い出されます。

一九七〇年代高度成長期に入り、貧困や死別から、若年出産、未婚、行方不明等の理由が多くなり、子ども達の成長発達にも変化が見られるようになりました。当時真生乳児院に横須賀より平井先生の教室で学ばれた阿部律先生が毎月臨床心理士として来て下さっていました。お陰様で乳児の精神発達や個人差を学び、生活や遊びが個々の発達や思いに沿う事が望ましく、特定の養育者により信頼と安心感の基で育つ事が最も大切だと学びました。

少子化の時代となり、一クラス四五名の六クラス編成と致しました。加えて短期一時預かり事業が始まり、現在の神戸市リフレッシュユーステイ事業としてデイケア・ショートステイを継続いたしております。

二〇〇〇年に入り、非行、薬物、精神疾患、未婚、離婚、虐待と養育の孤立化による育児不安、育児疲れの保護者が激増し、子どもを取り巻く環境は大変困難な時代になりましたが、子ども達一人一人は限りなく育ち行く力がみなぎっています。与えられた尊い命を守り、保護者の方と一緒に共に育ち合う事が今こそ大切な時のように感じます。

『自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ』(ローマ人への手紙二二・九)



二〇一二年度事業報告

社会福祉法人神戸真生塾の二〇一二年度も多くの皆様の温かいご支援のもと、何とか一年間を乗り切って参る事が出来ました。地域の方々をはじめ、学校・医療・関係機関の皆様には心より厚く御礼申し上げます。

日ごろ、職員一同は、子ども達に寄り添い共に生活を営みながら、家庭的な生活環境作りと居場所作りを目指して参りましたが、果たして子ども達との共生の現場ではまことに困難な場面に直面致します。子どもの養育環境の悪化は今や社会的問題となっております。

子ども達を理解し協力者となつて、社会に対して子ども達の代弁者となっているかどうか今後も問われ続ける事となるでしょう。

行政のみならず、児童福祉の分野では、要保護児童の社会的養護のあり方を問い、改善に向かつて変革を図ろうとの計画を打ち出しています。社会的養護を必要とする子ども家庭はこれからも増え続

ける事でしょう。

二〇一二年度はこのような社会の移り変わりのスタートラインともいえるべき変化を促す年度であったと考えています。

これから新年度も、まだまだ皆様のご支援とご声援をお願いすることになることと思いますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(神戸真生塾施設長)

富川 和彦



事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

資金収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

Table with 4 columns: 勘定科目, 本年度決算, 前年度決算, 増減. It details income and expenses for the fiscal year 2013.

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算, 決算, 差異, 備考. It details budget and actual financial results for the fiscal year 2013.

貸借対照表

平成25年3月31日 現在

(法人名)神戸真生塾 (会計単位名)社会福祉法人神戸真生塾

Balance Sheet table with columns for Assets (流動資産, 固定資産) and Liabilities (流動負債, 固定負債), showing year-end and previous year-end figures along with changes.

詳しくは、ホームページ <http://kbshinsei-j.org> をご覧ください。

《児童養護 神戸真生塾》

卒園卒業お祝い会

例年になく開花の早かった桜に祝福されるように、幼稚園や各学校を卒園卒業する十一名の子ども達のために、お世話になった先生方やたくさんのお関係者の来賓の方々をお迎えして、今年も神戸真生塾の卒園卒業お祝い会が行われました。

幼稚園児三名の乾杯の挨拶を皮切りに、栄養士さんの愛情のこもった料理を食べながら、終始和やかな雰囲気の中で会は進行していきました。

子ども達が毎年楽しみにしているスライドショーでは、自分達の小さい頃のかわいらしい姿



を見て子ども達も来賓の方々もみんな自然に笑顔になっていました。そして先生方や来賓の皆様からは温かい励ましの言葉や思わず笑ってしまうような歌やダンスを披露していただき、大変盛り上がりしました。

最後に高校を卒業して真生塾を巣立っていく子ども達から、職員への感謝の思いと、真生塾にいる子ども達へのメッセージ、そして将来への豊富が語られました。普段口数の少ない彼の思いに触れることが出来たことは、お祝い会に出席した全ての人々の心に深く刻まれたことと思います。

この会を通じて子ども達も私達職員も、たくさんの方々との

素晴らしい出会いの中で支えられ生かされているのだという、普段は忘れてしまいがちな当たり前のことに改めて気づくことができたと思います。

大勢の方々に出会い、支えられながら成長し、新たな門出の時をお世話になった皆様に祝福していただくことができた幸せを胸に、それぞれの道を一歩一歩、懸命に進んでくれることを心から祈っています。そして子ども達の未来が輝かしいものであることを願わずにはいられません。

最後になりましたが、年度末でお忙しい中、ご出席下さった皆様、そしてこれまで影ながら子ども達をご支援下さった全ての皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(金岡)



子どものつぶやき

☆保育士の頬にある血管をじーっと見て一言。「葉っぱができてる。」きつと葉脈に見えたのね。子どもの発想って素晴らしい。

(4歳 女兒)

☆夕焼けが外の建物に映り赤くなっているのを見て「大変！火事になってる！」

(5歳 男児)

☆レモンティーのペットボトルを見て「レモンピーのみたい」と。おいしい！

(5歳 女兒)

☆一緒に風呂に入る度に「お姉ちゃん赤ちゃんおるん？」と聞いてくる…
太っているだけです(笑)

(小1 女兒)

☆きんぴらごぼうとうまく言えず「チンピラごぼう」と。怖いけど見てみたいかな。

(小3 男児)

☆耳の中って何があるん？と聞いてきたため、カタツムリがいるんよと答えると「え？カタツムリ？俺の耳が家かよ」と苦笑い。本物じゃなくて、カタツムリの形をしたものがあるよ」と言うのと「なんや、図鑑で見よ」と

(小3 男児)

☆同部屋のMちゃんの髪の毛がほどけかかっており、保育士が「昔の人の髪の毛みたいやね」と言うときささずAちゃんが「かがやく姫みたい」と。かぐや姫のつもりなんですよ。

(小3 女兒)

☆夕食前に足が痛いと言きそうになっているが、「おみそ汁の中に肉団子が入ってるよ。」と言うと走ってくる。お薬よりも効く魔法の言葉です。

(小3 女兒)

☆野球をテレビで見ながら「あ！脱走や！」と。テレビを見てみると代走でした。

(小4 男児)

新任職員の紹介



保育所

小林 優子 ⑦

〔職名〕 保育士
 〔趣味〕 スノーボード
 〔特技〕 バスケ、トボール
 〔抱負〕 四月から保育園に勤める事になりました。わからないことも多く、不安もありますが、精一杯頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

竹本 彩乃 ⑥

〔職名〕 保育士
 〔趣味〕 登山
 〔特技〕 習字
 〔抱負〕 一人でも多くの子どもや

乳児院

馬久地 真子 ②

〔職名〕 保育士
 〔趣味〕 旅行
 〔特技〕 手芸（編み物）
 〔抱負〕 子どもたちからより多くの笑顔がでるように、明るく楽しく安心できる存在となるよう、日々愛をもって子どもたちの気持ちを大切に向き合っています。

保護者の皆さんの心のよりどころになれるよう日々精進しています。

中野 麻紀子 ⑧

〔職名〕 保育士
 〔趣味〕 野球観戦
 〔特技〕 キャッチボール
 〔抱負〕 乳児院に再就職させて頂く事になりました。子育てや他の保育現場を経験し、以前より良き働きが出来ますよう頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

川口 采弥佳 ⑨

〔職名〕 保育士
 〔趣味〕 サッカー観戦
 〔特技〕 バレーボール
 〔抱負〕 小さな頃からの夢がようやく叶い子どもたちと日々生活を送ることがとても楽しいです。保育士としてまだまだですが、自分の若さと元気を活かして頑張っていきたいと思ひます。

児童養護施設

首藤 萌子 ①

〔職名〕 保育士
 〔趣味〕 散歩
 〔特技〕 ピアノ
 〔抱負〕 幼児に配属になりました。笑顔で一生懸命頑張ります。そして子ども達に寄り添いながら、一緒に成長していきたいと思ひます。

小池 野乃香 ③

〔職名〕 栄養士
 〔趣味〕 テレビ・映画をみる
 〔特技〕 どこでも寝られること
 〔抱負〕 神戸真生塾で働かせていただく事になったからには、社会人としての自覚を持ち、栄養士として毎日成長できるように精進して頑張りたいです。

中本 歩 ④

〔職名〕 保育士
 〔趣味〕 ドライブ・旅行
 〔特技〕 水泳
 〔抱負〕 子どもに負けないパワーと笑顔で子ども達と共に日々成長していきたいと思ひます。子ども達との信頼関係を深めていけるように頑張ります。

児童家庭支援センター

久山 啓 ⑤

〔職名〕 児童指導員
 〔趣味〕 スポーツ、読書、音楽
 〔特技〕 野球
 〔抱負〕 福祉の世界に入るきっかけとなった神戸真生塾で働けることを光榮に思っています。地域福祉に貢献するためソーシャルワーカーとして謙虚に日々研鑽に励みたいと思ひます。

昨年度児童行事報告

- 四月 春の子ども会（十一月も、関西学院高等部・神戸女学院高等部）
- 五月 小学生ハイキング・幼レク（市養連）
- 五月 真陽フェスティバル・地区自治会
- 五月 当法人創立記念日お祝い会
- 六月 卓球大会（兵庫協・市養連）
- 六月 プロ野球観戦招待（新日本製菓・オリック）
- 七月 近畿スポーツ大会神戸予選（市養連）
- 七月 子どもクリン作戦
- 七月 夜市招待（元町商店街）
- 七月 琵琶湖キャンプ
- 八月 小学生教室キャンプ（神戸教会）
- 八月 花火大会
- 八月 ボクシング招待
- 八月 当法人・納涼大会
- 八月 海釣り招待（神戸市）
- 九月 Iリーグ観戦（アイッセル）
- 九月 女子バレーボール大会（市養連）
- 九月 Iリーグ観戦
- 九月 火曜会寿司祭り（火曜会）
- 十月 当児童養護施設 子ども運動会
- 十一月 コンサート（中田 ひとみ氏）
- 十一月 フットサル大会（市養連）
- 十一月 オレンジリボンキャンペーン（生田神社）
- 十一月 兵庫県子ども家庭支援センター
- 十一月 アイススケート 協賛会
- 十一月（神戸ポートライオンズクラブ）
- 十一月 お餅つき招待（神戸サウナ）
- 十一月 焼き芋の会（宮崎県串間市）
- 十一月 電飾バス来塾（市交通局労組）
- 十一月 教会クリスマス（神戸教会）
- 十一月 クリスマス礼拝・祝会
- 十一月 クリスマス昼食会招待（神戸ソロブ）
- 十一月 沖繩招待旅行（チミスト）
- 一月 ROBE三宮ひと街創り協議会
- 一月 カナデイアン交流会
- 二月 グリーンカンパ（市養連）
- 二月 キングデア招待（西宮キングデア）
- 二月 スキー大会（市児童養護施設連盟）
- 二月 キャンプ招待セントラルレオクラブ
- 二月 当法人・卒業生園お祝い会

《乳児院 真生乳児院》

はじめまして

真生乳児院 施設長

附属小児科診療所

院長 數田 紀久子

平成二十五年四月一日から真生乳児院に勤務しております數田（かずた）です。

二十八年ほど前からずっと真生乳児院の嘱託医をさせていただいておりましたので、こども達との関わりは長いのですが、今回は真生乳児院施設長と附属小児科診療所（愛）どもクリニック）を兼任する形での勤務となりました。

乳児院は、入所児のほかにも、ショートステイ、デイサービス、さらには病後児保育も加わり、社会の様々なニーズに対応していかなくてはならず、スタッフは各々が協力しながら、各々の役割を果たしていく必要があります。私もすべての子どもたちが健やかに育っていくことを願

いながら日々研鑽に努めたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

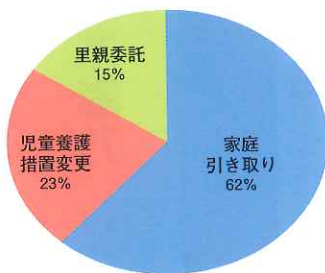
クリニックは社会福祉法人真生塾の附属小児科診療所として作られ、当初は4月1日から開院をとのことでしたが、いきなりの処置室水漏れ事件や、自動ドアの安全面や換気口の不備など、問題が山積みでフルオープンが遅れております。その他も問題をかかえた状態ですが、小児科の診療所なので子どもたちの健康面と安全面をまずきちんと確保してからオープンする予定となっております。

しかしながら、いつまでも待っているわけにもいかないので、現在は一部のみ診療をおこなっております。この広報誌が出る

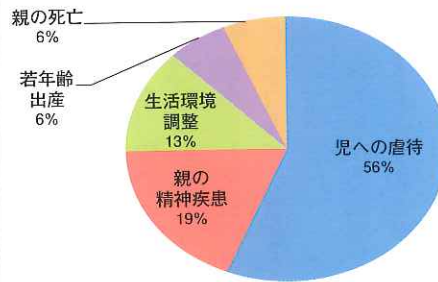
頃には、クリニックがオープンできている事を期待しています。乳児院ともどもクリニックもよろしくお願いたします。



H24年度 退所先



H24年度 入所理由



平成24年度 事業報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍児(1日付け)	18	18	17	21	23	26	27	27	27	28	28	28	288
入所児	1	0	2	5	3	3	1	0	1	0	0	0	16
退所児	1	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	7	13
月間延人数	554	542	512	695	782	822	837	810	850	868	784	843	8899
一時保護	9	11	8	6	6	5	2	1	3	3	2	1	
一時保護延日数	81	201	125	91	116	102	21	26	36	56	43	11	909
総人数	635	743	637	786	897	925	858	836	886	924	827	854	9,808
デイサービス	178	158	180	209	160	173	153	165	188	109	154	172	1999
ショートステイ	177	173	144	142	177	137	137	133	149	193	147	160	1869

《保育所 真生きらきら保育園》

今年度の年間聖句について



園長 上杉 徹

神さまが我々を招き、愛されている姿と重なります。

今年の保育園の年間聖句は『信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。(コリントの信徒への手紙I 13章13節)』としていきます。子どもたちが保護者の方より無償の愛を受けて信頼して生きていくように、私たちも神さまより愛されています。新しく保育園に入園する子どもたちは、保護者の深い愛情のもと、守り育てられています。そのことにより深い絆で結ばれ、すくすくと成長していきます。まさに、

東日本大震災以降、改めて「人と人のつながりが大切だ」「絆が大切だ」ということが再認識されました。日々の忙しい生活の中でなかなか余裕もなく、そのことを実践することが難しいかと思えます。当園では保育理念に掲げているこの「愛」という言葉を大切にしています。この「愛」を日々の保育の中で実践できるように一年間取り組みていきます。

ももぐみ

(1歳児)のようす

保育士 廣瀬加恵・竹本彩乃

登園の時やお迎えの時間になつてくると保護者の方の顔を思い泣いたり、不安そうな顔を見せる姿の子もまだ多いです。それが、それ以外の時間には泣くこともずいぶん減り、遊んでみたり、食事を摂ったり、お昼寝したり、トイレに行つて便座に座つてみたりすることを保育士と一緒にしてくれるようになってきています。特にお食事の時間やおやつ時間はみんなの楽しみの一つのように、苦手な食材を除いてはよく食べてくれるようになり美味しそうに食べてくれると幸せな気分になります。あそびでは保育室のおもちゃ以外の物を使つたりするなど、いろいろなあそびに親しんでもらえたらと思つて少しずつ行つていきます。そのうちの一つの風船あそびの様子を紹介いたします。保育士が息を

吹き込み大きくなっていく様子に興味がいっぱいで、みんなが集まり注目してくれていました。そして、空気が抜けて逆に小さくなっていく様子を見て、子どもたちの歓声やおもしろくて喜ぶ「きゃははー!!」の声があふく。また膨らませると再び大きくなる風船に注目!!そんなことをくり返し楽しみました。中には風船の様子に驚いてしまう子もいましたが、膨らました風船であそんでいるうちに、笑顔も見せてくれました。

また、保育室から園庭に向かって見える「こいのぼり」が大好きで、入口の柵に手を置いて顔をのぞかせてみんなで見えています。スペースが限られているので、時には場所の取り合いになることも・・・「お〜い」と保育士が声をかけると「お〜い」と同じよう

に言ってみたり、「せんせい! なに?」と保育士に聞く子に「こいのぼり」を指さして「こいのぼり」がいてることを教えてくれたり、ただじつと眺めていたり一つのことにそれぞれが違う反応を見せてくれます。

4月の終わりから歌っている「やねより、たかい・・・」のこいのぼりのうた。「ころころ卵は・・・」の手あそびを引き続き楽しんでいてくれて、「さかながはねて・・・」や絵本の前の「おはなし、おはなし・・・」など新しいあそびにも少しずつ興味を示して一緒にしようとしてくれます。



ありがとうございました

寄付並びに児童招待の方名

寄付金

敬称略・あいうえお順
二〇一二年四月一日～二〇一三年三月三十一日

- 芦屋岩園教会
- 有馬 和男
- 稲垣 宣子
- ㈱生田電工
- 岩村 良子
- 上杉 徹
- 上西 幸之助
- 栄光園
- 大江 恵美子
- 大澤 澄子
- 小沢医院 南 和光・小澤 善
- 押部谷民生委員児童協議会
- 小幡 信子
- 小野 勝江
- 片岡米穀店
- 勝木 光江
- 家庭養護促進協会
- カネディアンアカデミー
- 川畑 鉄彦
- 川本 真美
- 関西学院高等部
- 関西学院宗教活動委員会
- 関東学院中学部・高等部
- 神戸生田中学校
- 神戸ウエストライオンズクラブ
- 神戸教員合唱団
- 神戸教会
- 神戸教会学校
- 神戸教会付属石井幼稚園
- 神戸教会付属いずみ幼稚園
- 神戸市児童養護施設連盟
- 神戸松蔭女子学院大学
- 神戸昇天教会

- 神戸女学院中学部・高等部
- 神戸女子大学短期大学部
- 神戸市立清風幼稚園職員一同
- 神戸真生塾 児童養護施設 職員有志一同
- 乳児院 職員一同
- 保育所 職員一同
- 神戸親和女子大学
- 神戸多聞教会
- 神戸ポートワイズメンズクラブ
- こども園
- 子供の家職員有志一同
- 齋藤 仁美
- 齋藤 稔
- 清水 美香
- 頌栄短期大学宗教部
- 頌栄幼稚園
- 菅根 信彦
- 住元 淳子・義則
- ㈱スナダ建設
- 捜真女学校中高部・高等学部
- 高谷 一郎
- 華工房 人見 朋美
- 玉川聖学院
- 民谷 清
- 鎮西学院高等学校
- 東洋英和女学院中高母の会
- 富井 啓介
- 富川 和彦
- 富川 直彦
- 中村 悦子
- 永原 南海子
- 名古屋中学校・高等学校

- 西宮中央教会
- 日本聾話学校
- 野上 裕子
- 梅光学院中学校・高等学校
- 橋本 明
- 華工房 人見 朋美
- 濱 啓子
- 濱田 栄二
- 林 りえ
- 東神戸教会
- 福島 弘子
- 藤井 祥子
- 藤井 秀彦
- 細見 英信
- 本城 智子
- まい金館
- チャリティーオークション
- 宮永 公子
- 村井 和子
- 明治学院教会
- 山手教会
- 李 福美
- (有)カワタリ電設
- 吉原 志津子
- 若林 孝典
- 綿谷 榮子
- 渡邊 智明
- 和田柑子

寄付物品

- 内田 三枝
- 大阪ガス
- ㈱小田垣商店
- ㈱共進舎労働組合
- ㈱協同食品
- ㈱神戸スイーツポート
- ㈱三宝
- ㈱神果神戸青果
- ㈱チユチユアンナ

児童招待行事

- (株)ニトリ
- (株)フイリップモリスジャパン
- (株)マークラー神戸・森川正興
- (株)みの屋
- 片岡米穀店
- 神戸教会
- 神戸昇天教会
- 神戸ポートワイズメンズクラブ
- 神戸屋精肉店
- コストコホールセールジャパン
- 島田 千里
- 真陽フェスティバル
- 清風幼稚園
- 全国シヤンメリー協同組合
- 玉野雅嗣
- 豊崎水産
- 日本鏡餅組合
- P&G
- 兵庫県アミューズメント施設営業者協会
- 福岡 武彦
- ふる里
- 三木 明
- 本重 勝也
- 柳田 薫
- 柳田 正
- 山路 正明
- ワールドメイト
- 朝日放送
- 生田神社
- 大阪ガス
- 関西学院
- ・神戸女学院高等部
- 春・秋の子ども会
- キツギニア
- (株)近畿トラック販売・Be遊
- 京都水族館

- オリックス財団
- 熊野神社
- 劇団カッパ座
- 劇団自由人会
- 神戸ウエストライオンズクラブ
- 神戸教会
- KOBE三宮ひと街創り協議会
- 神戸サウナ
- 神戸市交通局
- 神戸市生活指導研究会
- 神戸元町商店街連合会
- 神戸六甲
- ポートライオンズクラブ
- 近藤様・他散髪ボランティア
- 真生ボクシングジム
- 須磨海釣り公園
- セントラルレオクラブ
- 全日本サーフキャスティング
- 連盟兵庫協会
- 神戸新聞厚生事業団
- 日本ソロプチミスト神戸
- ヴィッセル神戸
- サーミットグループ
- ポップサーカス
- 兵庫県警音楽隊
- 兵庫県
- 子ども家庭支援センター協議会
- 兵庫県社会福祉協議会
- ハッピードリームサーカス
- 宮崎県串間市 農業組合
- 三井住友海上
- 吉本興業



皆様のご意見、ご要望をお聴きしています。

神戸真生塾苦情処理委員会

- 苦情受付担当者 久山 啓 (子ども家庭支援センター
ロータリー子どもの家 センター長)
森 みずき (真生きらきら保育園 主任保育士)
- 苦情解決責任者 富川 和彦 (児童養護施設 神戸真生塾 施設長)
数田 紀久子(乳児院 真生乳児院 施設長)
上杉 徹 (保育所 真生きらきら保育園 園長)
- 第三者委員 森光 規之(当法人 監事)
中村 悦子(主任児童委員 中央区山手地区民生委員児童委員)
- 苦情受付件数 平成25年 3月より6月末まで 2件

ロータリー子どもの家は、児童福祉法に基づく児童家庭支援センターとして、神戸市から認可を受けています。二〇〇五年度の四月より、従来の活動とともに、子どもと家庭についての専門相談機関として、働いています。



毎日、午前9時〜午後6時、緊急のご相談は夜間もOKです。

子育てに
困った時は
先ず電話！

子育てホットライン(相談専用)

TEL.078-341-6493

神戸真生塾子ども家庭支援センター
(ロータリー子どもの家)

Homepage <http://www.rotary-kodomoie.org/>

《編集後記》

いつの間にか寒かった冬も終わり、太陽の眩しい季節となりました。皆様の温かいご支援のもと、無事新年度を迎え、たくさんの方々の笑顔と共に日々笑顔で子ども達と生活できる喜びを感じています。

皆様のご支援でこの広報誌『愛』も二五号を発行する事が出来ます事を、職員一同嬉しく思っております。ご協力いただき、ありがとうございます。今年度もこの広報誌を通じて、一年間に行われる各施設の様子や行事での子ども達の様子はもちろんの事、子ども達との日々の生活の中である小さな発見や感動を多くの方にお伝えし、読んで下さった方々の心をほっこりと和ませる事ができればこんなに嬉しい事はありません。

そして広報誌『愛』を読まれた皆さんの感想を寄せて頂けたら幸いです。

(金岡)

